

絹の道職場長会議連絡表

令和7年8月6日(水)

部署名	支援課	記入者	林 奈美	
項 目	内 容			
報告	【入居者状況】			
	・入所	松井 純雄様	7月2日	要介護5 保険者 杉並区
	・入所	高橋 寛一郎様	7月22日	要介護5 保険者 八王子市
	・退所	荻島 清様	7月18日	要介護3 保険者 八王子市
報告	荻島 清様	療養施設移動にて退所となる。		
	天野 勇三様	7/11多摩丘陵病院より退院される。施設に戻られるもずっと下を向いた状態で会話もない。声掛けにも全く反応見られず食事、水分も入らない状態。数日同様の状態が続いていたが徐々に顔も上を向き発語も聞かれるようになってくる。活気が戻ってくると以前と変わらず立ち上がり見られトイレの訴えが聞かれる。転倒の恐れがある為、居室にいる間はトイレを常に設置する。利尿剤が入っている為、ベッドとトイレを常に行ったり来たりされ落ち着かない様子が見られる。食事の日によってムラはあるが全量自力摂取される事も見られています。表情や会話も以前に近い所まで戻ってきている。このまま本人のやりたいように過ごしたいように生活できるよう援助していく。		
	八木 照子様	胃ろう部からの漏れが見られ経管栄養が上手く入らず、NSがチップで経管栄養を朝、夕に入れるよう変更となる。時々、痰の量も多く見られ苦痛な様子が見られる時もある。8/4夜間、痰が多く呼吸苦が見られオンコール行っています。酸素2リットル開始となる。酸素開始しているが苦しい様子は変わらず唸り声を出されている。注意深く様子観察行う。		
	高橋 寛一郎様	7/22入所されるも入所されてから食事がほとんど入らず点滴開始となる。食事介助行い、咀嚼されるも飲み込まず口腔内に溜め込み見られ食事進まず。採決の結果、塩分不足の為、1日1gの塩を水分に混ぜて提供。その後、少しすっきりとされてきたのか食事が進むようになってきている。身体も拘縮が強く車椅子が合わず、職員で検討を行いながら安楽な姿勢で乗れるよう工夫しています。		
	佐取 治代様	食事量が徐々に低下してきており、に見込めない様子が見られています。飲み込みも行えず口腔内から出てきてしまう様子が見られる。食形態を粥・刻みからミキサー・ミキサーに変更となる。若干、ミキサー食の方が飲み込みが良く行えているが食事量はあまり変わらず。本人の好きなラーメンをいつでも食べられるよう息子様が購入して持って来てくださるが以前は大喜びしていたラーメンをお出ししても反応が薄く、全量は食べきれない。本人のペースで食事をしていただき様子見ていく。		
	北村 悦子様	以前から食事量が少なく、介助行ってもほとんど開口されない。エンシュアを1日2本提供。ゆるトロミで吸い飲みで提供し、飲んで頂いている。本人の様子を見ながら介助行っていく。		

[illegible]